

報告

府立高校魅力化推進施設・設備整備基本構想について

令和 7 年 3 月 11 日
高校改革推進室
高校教育課

1 趣 旨

令和 4 年 3 月策定の「府立高校の在り方ビジョン」(以下、「ビジョン」)において、学びを支える教育環境の充実のため、老朽化が進んでいる施設・設備等について、計画的に整備・更新を行う必要があることや、中長期的なニーズや課題を見据えて、魅力ある学びを支える環境の整備が必要であることを示した。

また、令和 5 年 12 月策定の「魅力ある府立高校づくり推進基本計画」(以下、「基本計画」という。)において、学校施設等の整備として、「府立高校魅力化推進施設・設備整備基本構想(仮称)」の策定などの基本方針を示した。

今後、ビジョン及び基本計画に基づき実施していく高校改革を、施設・設備面から実現するために、安心安全かつ生徒にとって魅力的な環境の整備に向け、策定するものである。

2 内 容

第 1 章 構想の趣旨等

- 1 構想の趣旨
- 2 施設・設備整備の進め方

第 2 章 施設・設備整備の方向性

- 1 学校の使命や特色に応じた整備
- 2 学校、学科の配置見直し等に必要となる整備
- 3 安心・安全で快適な教育環境づくりのための整備

※詳細は別紙のとおり

府立高校魅力化推進施設・設備整備基本構想

(案)

令和7年3月策定

京都府教育委員会

目 次

第1章 構想の趣旨等

1 構想の趣旨	1
2 施設・設備整備の進め方	1

第2章 施設・設備整備の方向性

1 学校の使命や特色に応じた整備	
(1) 新たな学びを支える教育環境の充実	2
(2) 地域産業を支える職業学科の教育環境の充実	2
(3) 多様な生徒のニーズに対応できる教育環境の充実	3
(4) スポーツ・文化芸術活動に係る教育環境の充実	3
2 学校、学科の配置見直し等に必要となる整備	5
3 安心・安全で快適な教育環境づくりのための整備	6

参考資料

○府立高校の在り方ビジョン（抜粋）	7
○魅力ある府立高校づくり推進基本計画（抜粋）	9

第1章 構想の趣旨等

1 構想の趣旨

本府では、新しい時代の魅力ある府立高校づくりに向けた中長期的な基本的方向性や目指す将来像を示すため、令和4年3月に「府立高校の在り方ビジョン」（以下、「ビジョン」という。）を策定し、本府における高校教育の一層の充実に向け、具体的な施策を推進している。

ビジョンにおいて、学びを支える教育環境の充実のため、老朽化が進んでいる施設・設備等について、計画的に整備・更新を行う必要があることや、中長期的なニーズや課題を見据えて、魅力ある学びを支える環境の整備が必要であることを示したところである。

また、令和5年12月に「魅力ある府立高校づくり推進基本計画」（以下、「基本計画」という。）を策定し、その中で学校施設等の整備について、基本方針を示したところである。

本構想は、府教育委員会として、ビジョン及び基本計画に基づき実施していく高校改革を、施設・設備面から実現するために、安心安全かつ生徒にとって魅力的な環境の整備に向け、策定するものである。

なお、本構想については、ビジョン及び基本計画の改定等と合わせた見直しを行うこととする。

2 施設・設備整備の進め方

今後、実施していく高校改革に合わせて、必要となる施設・設備の整備を進めるとともに、各高校の実情に応じた整備を進めていくこととする。

第2章 施設・設備整備の方向性

Ⅰ 学校の使命や特色に応じた整備

(1) 新たな学びを支える教育環境の充実

各学校の社会的役割等を再定義したスクール・ミッションにおいて、それぞれの使命や特色に応じ、育成を目指す人材を示したところであるが、スクール・ミッションの実現に向けては、地域や企業、大学等との連携や探究活動、国際交流活動などの教育内容の更なる充実が必要であり、そのための施設・設備の整備を進める。

なお、ICT を活用した文理横断的・探究的な学びの強化に必要な教育環境の整備については、文科省事業の「高等学校DX加速化推進事業」と連携しつつ、整備を進める。

【整備を想定する学校】

全ての高校

【想定される施設・設備】

探究活動に活用する教室の整備（可動式の机・椅子の設置、壁面ホワイトボード、大型スクリーン 等）

地域連携ルームの整備

国際交流ルームの整備 等

(2) 地域産業を支える職業学科の教育環境の充実

職業教育を主とする学科（以下、「職業学科」という。）設置校においては、京都の地域産業を支える人材の育成に加えて、高等教育機関等と連携した学びを深め、スペシャリストとなる人材の育成を目指して、意欲や目的意識の高い生徒が切磋琢磨できるよう、より充実した教育環境を整備することが重要である。

このため、より質の高い職業学科の学びに応じた教育活動を実践できるよう、産業教育に係る施設・設備の整備を進める。

【整備を想定する学校】

職業学科設置校

【想定される施設・設備】

次の職業学科に関連する施設・設備 等

(農業、工業、商業、水産、家庭、情報、福祉)

(3) 多様な生徒のニーズに対応できる教育環境の充実

多様な入学動機や希望進路、学習経験等といった様々な背景のある生徒や特別な支援を要する生徒など、多様な生徒のニーズに対応するためには、生徒一人一人が安心して過ごすことのできる教育環境を整備することが重要である。

全ての生徒が充実した学校生活を実現することができるよう、様々な場面で生徒が健やかに過ごすことができるスペースの整備を進める。

【整備を想定する学校】

単位制などによる柔軟な教育課程へと転換する高校

京都フレックス学園構想に基づく昼間定時制課程へと転換する高校 等

【想定される施設・設備】

クールダウンスペース

個別学習室

休憩時間等の居場所空間の整備 等

(4) スポーツ・文化芸術活動に係る教育環境の充実

生徒一人一人が生き生きとした高校生活を過ごすことができるよう部活動の活性化を図るとともに、質の高いスポーツや文化・芸術活動の展開による各校の特色化を進めることができるよう、部活動に係る施設・設備の整備を進める。

また、府立高校が有する資源を地域社会に提供するとともに、地域コミュニティの拠点を創出し、地域とともにある開かれた府立高校づくりを推進するため、開放型地域クラブに関する施設・設備の整備を進める。

【整備を想定する学校】

普通科スポーツ総合専攻及び体育に関する学科設置校

部活動推進校

開放型地域クラブ設置校 等

【想定される施設・設備】

体育館や格技場等の空調整備

グラウンドの芝生化

楽器などの部活動関係備品の購入

防音ルームの設置 等

2 学校、学科の配置見直し等に必要な整備

「すべての生徒が夢や希望を持ち、未来に向かっていきいきと学ぶことができる高校」を目指し、魅力ある府立高校づくりに向けた再編整備を進めるに当たり、各学校の使命や特色に応じた教育活動を展開するために必要となる施設・設備の整備を総合的に進める。

【整備を想定する学校】

再編整備対象校

【想定される施設・設備】

大規模改築、大規模改修

校地間の移動手段の確保 等

3 安心・安全で快適な教育環境づくりのための整備

各学校において安心・安全でかつ快適な教育環境を確保するとともに地域の避難所としての役割を果たすために必要となる施設・設備の整備を進める。

【整備を想定する学校】

全ての高校

【想定される施設・設備】

体育館空調の整備

特別教室空調の整備

トイレの洋式化

多目的トイレの更新 等

参考資料

■「府立高校の在り方ビジョン(令和4年3月策定)」(抜粋)

第2部 令和時代に対応した京都府の高校教育の在り方

Ⅱ 魅力ある府立高校づくり

1 府立高校における魅力的な学びの充実

(7) 学びを支える教育環境の充実

学校教育に必要な機能や安全かつ快適な教育環境を確保するため、老朽化が進んでいる施設・設備等については、計画的に整備・更新を行う必要がある。

アンケート調査の結果においても、生徒の多くが学校施設・設備の改善を望んでいることが顕在化した。財源等の課題はあるものの、「京都府教育施設個別施設計画」に基づく計画的な整備を進めるとともに、教育のデジタル化による新時代の学び、地域産業を支える職業教育等の充実や特別な支援を要する生徒の増加状況などといった中長期的なニーズや課題を見据えて、魅力ある学びを支える環境の整備が必要である。

(略)

【目指す方向性】

① 新たな学びを支えるICT教育環境の充実

- ・個別最適な学びの実現に向け、ネットワーク環境を含むハードとソフト両面でのICT教育環境の充実を図る。
- ・生徒1人1台の学習者用端末（タブレット）の導入に伴う購入支援制度の充実を図る。

② 地域産業を支える職業学科の教育環境の充実

- ・地域産業を支える人材育成に向け、職業学科設置校における産業教育設備の整備・更新や、地元企業等の施設・設備を実習等の学びの場として活用すること、寮の再整備などを進める。
- ・特色ある教育内容等により、府外からも積極的に生徒を募集（全国募集）する。

③ 多様な生徒の学習ニーズに対応できる教育環境の充実

- ・多様な入学動機や希望進路、学習経験等といった様々な背景のある生徒や

特別な支援を要する生徒など、多様な生徒の学習ニーズに対応した学びの充実に向け、府立学校（高校、特別支援学校）における教育環境の整備を推進する。

④ 最適な学びを支える良質な空間の整備

- ・ 空き教室等を有効活用し、各高校の実情に応じた生徒たちの「憩いの場」や、学校と地域の方々との「交流の場」等の設置を推進する。

（略）

■「魅力ある府立高校づくり推進基本計画（令和5年12月策定）」（抜粋）

第2章 今後の府立高校の在り方

4 学校施設等の整備

学校教育に必要な機能や安全かつ快適な教育環境を確保するため、老朽化が進んでいる施設・設備等は、計画的に整備・更新を行う必要がある。

これまでから、大規模改修やトイレの洋式化など学校施設の計画的な整備を進め、また、喫緊課題の老朽化した空調設備について、普通教室等の空調設備更新を大幅に加速させるなど、安心安全な教育環境づくりに努めてきた。

アンケート結果においても、生徒の多くが施設・設備に対する改善を望んでいる。財源等の課題はあるものの、計画的な整備を進めるとともに、教育のデジタル化による新時代の学び、地域産業を支える職業教育等の充実などといった中長期的なニーズや課題を見据えて、魅力ある学びを支える環境整備が必要である。

【基本方針】

- 生徒が意欲をもって学びたくなる魅力ある教育環境とするため、新たに「府立高校魅力化推進施設・設備整備基本構想」（仮称）を策定し、学校の使命や特色に応じた施設・設備の充実や、学校、学科の配置見直しに必要な重点的な整備を進める。
- 京都産業を牽引する職業人の育成を担う職業学科設置校では、意欲や目的意識の高い生徒が切磋琢磨できるよう、より充実した教育環境にするため、寮や産業教育設備など特色ある施設等の整備を推進する。
- 校舎の大規模改修など、学校施設の長寿命化対策を進めるとともに、空調設備の整備、トイレの洋式化など、快適な教育環境づくりを計画的に推進する。